

第18回目のGIS News! です

実りの秋です。稲刈りがあちらこちらで始まっていますが、もうすぐおいしい新米が食べられると思うと、今からとても楽しみです！

さて、今回は下水道システム第3弾として、本システム導入の利点・効果をご説明していきたいと思っております。

何ができる？

1. 下水道台帳図、各種申請書、現場写真、既存図面等の各情報をパソコン上で一元的に管理することができますので、キャビネットや資材倉庫などの保管場所を無くすることができます。
2. 施工年度別、家屋の水洗・非水洗、接続・非接続等の色別着色により、視覚的に情報の把握ができ、統計的資料を作成することができます。また、着色を変更することで他の資料などへの二次活用も可能となります。
3. 複数の図面をつなげた状態で表示できるため、全体的な下水の流れの把握や複数枚にまたがった図面の印刷も可能となります。
4. 家屋、マンホール、下水道管、取付管等の情報を用途別に分類管理するため、検索や照会・帳票印刷を容易に行うことができます。
5. 上記の他に、施工業者、路線番号、地区名といった検索も地図側、データベース側の双方向からでき、目的に応じて使い分けることができます。

そのほかにも、管理システムとして必要な機能をお客様のスタイルで作成（オリジナル）することができます。

どんな効果が期待できる？

導入によって得られる効果は、直接的な効果と間接的な効果に分けることができます。

詳しい説明は次号以降とさせていただきますが、これからは情報を上手に活用することで新たな価値を生み出し、無駄を省くことが求められるようになると思われます。

パソコンなどによる情報管理をお考えの皆さん！是非この機会にGISの導入を検討されては如何でしょうか。

次回のGIS News!

次回は10月9日発行予定です。よろしくおつき合い下さい！

Geographic Information System

記事：協同組合山形県地理情報センター 笹原 発行日：2001年9月25日

